テコ 携帯電話で商品発注

琉薬が運用 バーコードで情報読む

バーコードで読み込んだ商品情報を携帯電話のウェブシステムで送信するシステム

コンピューターシステム開発のテコ（那覇市、金城盛徳社長）はこのほど市販のバーコードスキャナーと携帯電話のウェブ機能を用いた商品の受発注システムを開発した。二十七日から琉薬（浦添市、富原盛勇社長）が薬品の卸売り業務で運用を開始している。

発注者は携帯電話にバーコードスキャナーを取り付け、注文したい商品の情報をバーコードから読み取る。携帯電話のウェブ機能を利用して、商品情報と注文個数とをインターネットで送信するシステムだ。

商品情報はテコが管理するサーバーを経由して受注側のコンピューターに送られる。送信から注文確認まで三分以内で自動的に完了する高速性が特徴。

バーコードから情報を読み取るため入力ミスも減り、発注ミスも携帯端末から訂正できる。iアプリ、iモード、ezwebに対応する。

これまで琉薬では社員が小売店を回り、手作業で商品を受注していた。受注して帰社するまでの時間や、その後の入力作業などの短縮が完全自動化により実現した。

琉薬の譜久山健会計課長は「携帯電話からの通信費は高くない。翌日にしか納品できなかったものが、受注を受けすぐに手配できるようになった。小売店から直接の発注にも活用したい」と話した。

テコの小渡三佳矢営業部長は「発注のためのファクス用紙などコスト削減に貢献する。携帯電話に特化した開発をしており、今回の本格的な受発注システムを確立したのは全国的にも初めてだ」と語った。

OCC リナックス社と業務提携 システム開発など展開

業務提携を発表したOCCの与那城専務（右）と与那嶺義明取締役支配人（左）、茂木ミラクル・リナックス社長＝29日、琉球新報社

ソフトウエア開発のOCC（浦添市、山根健次郎社長）と日本オラクルの子会社、ミラクル・リナックス社（東京都、茂木正之社長）は、二十九日、業務提携を結んだ。地元企業や団体に幅広いつながりを持つOCCの営業、技術力と、ミラクル・リナックス社の製品技術を生かし、県内でも需要拡大が見込まれる基本ソフト（OS）のリナ